

# 全塾協議会 議事録

2009年1月21日

文責：レダ

18:30開始

## 承認について

- ・ SCの委員長交代

旧委員長小風から新委員長土屋に移行

若月：オリエンテーションのサークル紹介とは違うのか？

小風：手伝ったりはするが、違う。

若月：オリ実と情報共有をしてはどうか？

小風：アドバイスありがとうございます。

## 承認

- ・ 応援指導部の幹部交代

新主将の有馬、新主務のカシジユク

有馬：応援指導部には長らく何故体連ではないのか？という疑問が方々から寄せられたが、あくまで我々は福利厚生機関として活動することで体連と違った立場を取りたい。

若月：体連では予算に関しても難しくなりますしね。

## 承認

- ・ 文化団体連盟の交代

旧委員長の岡から新委員長の荒木

## 承認

- ・ 全慶連

独自財源からの支出について

交付金からは認められていない、オリエンテーション参加費、他大学への差し入れ代、応援指導部への差し入れ代  
代表委員会でのお茶代

若月：財源は？

藤田：イベント等で浮いたお金

牧田：代表委員会とはどのようなもの？

藤田：各地の学生会の代表、および全慶連の常任委員によって年9回開催。

若月：正確な額が決まったらあらためて申請してほしい。とりあえず支出自体は承認ということ。

承認

## 連絡

若月：三田実から連絡です。銭湯の回数券代、駐車料金、ケータリング代の申請をするべく次回にでも参加。銭湯の回数券代が21万

若月：新顔が多いので自己紹介を。

自己紹介

- ・ 学生団体ルームの閉鎖について

岡：学生団体ルームは中等部の試験・耐震補強などで閉鎖される期間があるので掲示をよく見てください。2月4日に応援指導部と掃除をします。

岡本：体連も参加したいのですが、どうすれば？潔癖症なので・・・。

岡：学生センターに、我々が許可したと申し出てください。

- ・ 園遊会準備委員会からの連絡

大洞：全塾の加藤さんに相談したら、あくまで非公式なので、応援指導部の白石さんなどの紹介を受けた。

園遊会後のホテルの使用について、中止しただけで解決できる問題ではない。なぜなら園遊会と関係なくサークルはホテルを借りるからである。よって中止に足る理由としては疑問を持つ。

経理を徹底し、監査はOBに依頼。

学生を新横浜に集める以上、学生のホテル使用の責任は我々にある。

説明会を開き、ホテルを借りるサークルの代表に誓約書を書かせている。(もちろん強制力はないが、啓発活動はしている)

詳しくは冊子の方を参照してほしい。

若月：この冊子は誰が作った？

牧田：どのくらい申し込みがきているのか？

大洞：公表は出来ないが、8月までに2000人は集める方針。

牧田：応援指導部に依頼もきてないし、承認もしてない。

大洞：白石氏が話しを進めていると聞いているが。

牧田：福利厚生機関としては、塾の公認行事として応援指導部を出したいので、なんとか公認を取り付けて欲しい。今応援指導部は大変な状況なので、非公式行事で問題があると困るので、参加するとは言い切れない。

大洞：白石氏から何か連絡はあったか？

牧田：何もない

カシジユク：例えば塾旗も塾からの借り物なので、やはり公認は必要である。

若月：他の団体にそういった依頼はしているか？

大洞：あくまで自主的に、こちらから頼む形ではやっていない。

若月：体連など、名前を出している団体は協力しているのか？

儘田：あくまで肩書きである。

藤田：今ここで何の話をしにきたのか？承認なのか、説明なのか？

大洞：非公式ではあるが、規模が大きいので説明に来た。

大洞：今年はどうやっても公認は厳しいので、みんなに理解を深めて貰うべく来た。

若月：もし今年問題があれば、園遊会の伝統そのものが危うい。チケットの枚数は公表できないといったが、もし予算の回収が出来なかったらどうするのか？

大洞：規模は人数に合わせる。会場費は延長代込みで、本当はもっと安い。園遊会の意義は「集まる」ことにある。現時点で赤字は出ない予定。仮に参加人数が少なくとも、参加者に満足感是与えられる。

若月：慶應の名前を使っている以上、何かあった際にみんな逃げてしまうと、全塾協議会にまで責任が降ってくる。

大洞：自分が逃げなければ大丈夫。

藤田：ハコ代は確定してるのか？

大洞：500万までは。

牧田：過去の園遊会の会計との比較が欲しい。

大洞：申し訳ないことに、過去の会計が残っていない。

若月：予算規模が今までより大きいが？

大洞：まだ概算なので。

岡：三田会の名簿作成とどこまで関わっているのか？

大洞：まったく関わらないことになりました。

斉藤：3年生の役員が3人しかいないが、来年以降大丈夫なのか？

大洞：今までは0だったので、むしろいいほう。

若月：来年はまた違う団体になるのか？

大洞：なるが、その3人は集まるはず。

若月：負債等の問題を他に押し付けて、また違う団体として活動するのでは？

大洞：大丈夫だと思います。

若月：今までも責任があやふやになってしまっていた。誰が責任を持つのかははっきりさせてほしい。今年限りの団体としてやられては不安である。来年度以降に公認を目指すなら、今年大きな問題は起こせない。来年にちゃんとノウハウを残してほしい。

大洞：来年度に負債が回ることはありえません。むしろ来年公認もらえなければ、再来年

もやると確約できない。

若月：しかし例えば今年参加した3年が勝手にやるかもしれない。

岡：コンプライアンス委員会という単語が冊子の中に目立つが、その中身は？

大洞：公開します。

岡：誓約書をサークルにとっているようだが、個人的に参加する人たちに対する啓発は？

若月：個人の起こす問題への対策はどうしているのか。

大洞：園遊会の引き受けるべき責任は、会場のある新横浜界隈でのことか、それとも日吉を含む参加者全員の行動範囲内なのかわからない。

若月：ならば対策はしないのか？全協は手伝えない。

大洞：しないことはない。金曜日に話し合いたい。慶應に苦情が行かないよう、本部は設置する。

牧田：黒字になった場合はどうするのか？繰越することと、プラスマイナス0の開催は矛盾する。

大洞：繰越はしない。使い切る。

牧田：今までは全てを園遊会のみに使ってきたわけではない（卒準は）。やはり過去の収支との比較が必要。大幅に黒字になった場合の、お金の行き先が心配。

大洞：どう証明していいかはわからないが、例えば当日券が売れたら企業と交渉して、最終的には使い切る。

藤田：コンプライアンス委員会がOBということは、悪い言い方をすれば自分らの息のかかった人間ではないのか？

大洞：学校側にコンプライアンス委員会に出した物と同じ会計を報告する。

有馬：例えば4年生は就職があるが、みんな責任をもって残るのか？この組織はいつまで続くのか？

大洞：大丈夫だと思います。残った3年生・業者が引き継ぐかと。

高橋：なんのためにこの議論を？

若月：話がずれたので修正。非公認ではあるが、予算規模が大きい、慶應の名前を使っているなどで確認の為。

高橋：ホテルの話などは慶應の品位に関わるが、予算の詳細などは責任の所在が非公認の「園遊会準備委員会」なので、ここで話す必要はない。

若月：予算、ホテル、動員数などの問題が懸念される。これらを考えて運営していただきたい。来年の公認を望むなら、規模の縮小は必然。堅実な運営を望む。

斉藤：警備は業者のみ？

大洞：警備、準備委員、有志などで構成。

若月：体育会、応援指導部などの名前を使っている。4年が協力するなら、あくまで個人として協力していることを明記。残された下級に責任が行かないように。

- ・ リーダーズキャンプについての質問

若月：春のそれは、慣習枠を決めるための合宿。慣習枠自体は新設できるものではないし、申請してくる団体も限られているので合宿にする必要はないと判断。もちろん全塾協議会は通す。

藤田：けっこうみんな楽しみしてたんですが。

若月：お金がかかる。待ち時間が長い。飲み会みたいなのは別で開いてはどうか。秋のそれは開催予定。

帳簿の書き方を全団体に教えていたが。それも別に行う。

- ・ 主将合宿について

儘田：合宿は1月11・12日に開催。会計報告は冊子を参照してください。

若月：失踪した方がいるようですが。

儘田：「失踪」したので。そう書きました。

儘田：懇親会費についてだが、学校側は自分らのやりくりを求め、その上での協力はしてくれとのこと。

若月：では51万円は、交付したお金から出るということで。

儘田：はい。

若月：使用用途が確定したら、あらためて文にしてください。食費は難しそうです。

儘田：まあ見切り発車だったので。でも15年後にはスポーツ界は慶應が支配してます！

石田：これは自治会費から出すの？

若月：自治会費から出して、残りを分配するよう。食費は慣習枠でよいと加藤さんが解釈したよう。

宇山：一応全塾生から集めたお金だから、そこらへんはちゃんとするべきかと。

石田：リーキャンよりかかっているのはまずいんじゃないのか。

若月：今年はこれで通すほかない。

次回全協の日程

2月12日 17時～ 体育会本部

20:43 終了